

まちづくり検討会議 後期(平成29年5月～平成31年4月)の取組内容

委員会	テーマ	選定理由
総務常任委員会	市民協働を活かしたまちづくり	<p>本市は自治会の加入率は高いが、様々な理由により地域活動への関心が薄れている。また、市民ボランティアやNPOにより市民活動が積極的に行われているものの、まだ数が少なく、地域の問題がなかなか解決できないと感じる。</p> <p>自治会などの地域コミュニティや市民活動団体の活動はまちづくりに大きな役割を果たすものであり、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という市民の思いを受け止め実現していく、市民協働によるまちづくりを推進する取り組みが重要であるため選定した。</p>
産業建設常任委員会	地域の資源や特性を生かした産業振興	<p>現在の高齢化社会を支える子育て世代や今後の社会を担う子ども達に対する支援の拡充、定住・交流人口の維持・拡大、ならびに財政健全化の実現のためには、市内企業の育成や本市への企業誘致・投資促進による雇用の創出など、産業振興による本市の経済の再生と発展が求められている。</p> <p>しかしながら「平成27年度伊勢原市市民意識調査結果」によると、市の重点的な施策37本の中で「地域を支える商業・工業の振興」の市民の満足度は35位と低迷しているなど、本市においては地域の資源や特性を生かした産業振興の強化と拡充が急務であるため選定した。</p>
教育福祉常任委員会	誰もが「健幸」を実感できるまちづくりの推進	<p>少子高齢化が急速に進む中、誰もが地域で元気に暮らせる社会を実現するためにも「健幸（＝すべての人々が生きがいを感じ、豊かな生活を送れること）づくり」への支援が求められている。</p> <p>「健康・文化都市」を宣言している本市にとって、地域の担い手である市民が「健康」を通じて主体的に社会参加するためには、「健幸」に対する仕組みづくりや施策を推進することが必要であるとともに、本市の新たな“魅力づくり”“活性化”につなげることをめざし選定した。</p>